

# 達成状況評価書(平成26年度)

部局名:言語文化研究科

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、外国語学部の幹事研究科として、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の具体案を作成し、外国語学部の学生が文系他学部の課程を副専攻として履修できるプログラムを平成27年度から実施する体制を整えている。さらに、高度教養教育としての外国語教育の充実のため、知のジムナスティックス（高度教養プログラム）科目に英語上級（Reading）、ドイツ語上級、フランス語上級、ロシア語上級、中国語上級などの計12科目を提供したほか、「関連研究言語科目」について、その開設状況を文系学部周知した結果、他学部（外国語学部を含む）から計541名の受講者があるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、全学教育推進機構の言語教育部門の主幹部局として、多言語教育を充実させるため、「特別外国語」を卒業要件科目の国際教養2の科目に位置づけて開講したほか、全学学生のアカデミックな英語運用能力を養成するため、教育推進部に協力して外部委託による英語講座を企画・開講するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、国際公募によりネイティブ・スピーカーの特任准教授4名を採用したほか、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」事業で、特任助教1名を、「クロス・アポイント制度」により、海外の研究機関（スウェーデン・フィンランド・イスラエル・ノルウェー）から特任教員4名を採用するなど、教員組織の活性化に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~17)</p>	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、海外教育研究機関16件と交流協定を締結するなど（新規11件、更新5件）、国際交流に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

## 達成状況評価書(平成26年度)

項目	コメント
5. 全体の項目に関する達成状況	<p><b>【中期計画の達成状況】</b> 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p><b>【特記事項】</b> 平成26年度は、「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」の実施体制の整備、高度教養教育における外国語教育の充実、共通教育における外国語教育の充実など、積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【留意事項】</b> 特になし。</p>